

1. 学力向上に向けた取り組みについて

昨年4月に全国学力・学習状況調査、いわゆる全国学力テストが実施されました。福島県は全国平均を下回り、県の教育長が、厳しい結果であり重く受けとめている、と議会で答弁しています。

学力テストは、市ごとの情報を公表しないため、いわき市の結果はわかりませんが、いわき市が県内他の地域と比べ抜きん出て良くも悪くもないと考えれば、いわき市の結果も、厳しい状況といえるでしょう。

本市では平成23年度から同32年度までの後期基本計画を策定し、その中に「小・中学校の教育の充実」という施策を盛り込んでいます。その施策の成果を計る指標に、「学校に行くのが楽しいと感じる児童・

2. AEDによる救命率の向上について

本市は278台のAEDを設置し、延べ1,372回、1万8,426人に対し、AED取り扱いの講習会を実施しています。

設置と講習会が進捗した中、AEDIによる救命率を向上させるためには、迅速にAEDを手に行き届けることができる仕組みを提供することが、必要だと思います。

いかにすれば、迅速にAEDを手に行き届けるか。その有効な手段は、ネットによるAEDの設置情報の提供であり、なかんずく、google mapなどのネットの地図サービスにAEDの位置情報を提供すれば、より効果的です。

この点に対し、市は位置情報を市公式ホームページへ掲載し、地図サービスへの展開は、市で進めている地図情報システムを視野に入れ、

3. 公共施設の予約ルールの見直しについて

本市の公共施設は、キャンセルの際、予約時に支払った使用料を、原則、返還しません。例えば、予約日の前日にキャンセルするなら、全額返還されないのも理解できますが、何日も前にキャンセルを申し出ても、返還されないというルールは、利用者にとってまことに不利益なルールです。

この点を質したところ、市民の立場に立つことが重要と認識していますが、課題などについて、検証する必要があると考えます。との答弁を得ました。

予約ルールの見直しは、財源が必要な案件ではありません。要はやる気一つです。早急なルールの見直しを要望します。

全国学力テスト 福島県厳しい結果

生徒の割合」を設定していますが、この指標で教育の充実度合いを計れるのでしょうか。

わたくしは、市独自に達成度を把握するようなテストを実施し、その点数を基準に成果指標を設定すべきでは、と質問しましたが、市教委は現時点では考えていないとのこと。

熊本市では年間5千8百万円をかけて、市独自に学力を計るテストを実施しています。本市もまずは現状を把握し、その結果を踏まえ目標を設定し、それに向けて繰り返し努力することが必要だと考えます。

AED 278台 設置

検討するとのことでした。前向きな答弁を得ることができ、良かったのですが、肝腎な点は、google mapに載せる点です。使う側として、一番使い勝手がいいのは、google mapなのです。

この件を、ツイッターでつぶやいたところ、市内の有志の方が、なんと次の日に、一般に公開されているAED情報を集め、google mapでいわき市AED設置状況マップを作っていました。ソーシャルメディアのスピードと可能性を改めて感じました。

スマートフォンの方はこちら



いわき市AED設置状況マップ
http://goo.gl/u0Gow

市公共施設 キャンセル時 使用料 原則 全額返還せず

本市と他市の各施設のキャンセル時の使用料の取り扱いの状況は以下の通りです。

市	施設	変更	キャンセル
いわき	総合保健福祉センター	不可	返還なし
	アリオス	不可	2ヶ月前まで半額返還
	産業創造館(ラトブ)	一回限り可	返還なし
	公民館	可	返還なし
	体育施設	可	返還なし
	学校施設	不可	返還なし
福島	学習センター	3日前まで可	3日前まで全額返還
郡山	総合体育館	14日前まで可	14日前まで半額返還
会津若松	中央公民館	2日前まで可	2日前まで全額返還

みなさまのご意見、ご要望をお聞かせください。これからもよろしくお願ひいたします。